

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和7年10月24日発行 第52号 (令和7年度7号)

◆子弟句碑 建立 除幕式

10月13日(月)午前、糸崎町の観音堂にて、伊藤秀雄氏(鮎川町)とその師匠の本多静江氏(故人)が「仏舞」を題材にして俳句を詠んだ子弟句碑建立の除幕式が行われた。式には、地元糸崎町や県俳句協会の関係者、伊藤さんと本多さんのご家族等、約40名が参加し、建立をお祝いした。伊藤氏は本多先生に指導を受け始めたのが国見公民館の自主グループ講座であったことから、現在の館長も招待され出席した。両先生が読んだ俳句は下のとおりで、これらの句は高く評価され、広く国内に紹介されたことが契機となり「仏舞」が俳句の季語に認められたとのことであった。伊藤先生は「長年の悲願が達成され非常に喜ばしい」と感想を披露していた。

「仏舞 この世ならねば ゆるやかに」 本多 静江

「水張りし 棚田の光り 仏舞」 伊藤 秀雄



◆総合学習 成果発表会 国見中学校

10月3日(金)午後、国見中学校にて本年度の「総合的な学習の時間 成果発表会」が開催され、小学校高学年児童約15名、保護者や関係者約20名も加えた地区民を前に中学生が3年間の活動を踏まえた成果を発表した。「国見もりあげ隊」「国見ハッピーコネクタイ(隊)」「温故知新2」三つのグループは、地区のPRのための観光マップ作製、Jリーグ試合会場での宣伝、地区合同シルバー喫茶への参加、地区内行事への積極的参加、郷土芸能の調査や継承等の活動内容を、効果的なプレゼンテーションにて参加者に説明した。松原校長先生によると福井県出身でソフトバンクグループ等で活躍したプレゼンテーションの国内第一人者の前田鎌利さんを講師に迎えた事前授業も行ない、表現力の向上を学習したとのことであった。中学生達が真剣に国見地区のことを考えて取組み、人口減少を少しでも食い止めたいと努力していることに感動させられた。

◆地域創生研修会 移住促進委員会設置

9月23日(火)午後7時から公民館にて地域創生研修会が開催され、地区民有志等24名が参加し、ふるさと福井サポートセンター代表の北山講師から「空家マッチングツアー実施に向けた43のスキル」を学んだ。国見地区の人口減少対策として、特に子育て世代を対象とした移住者の受入れを推進するために、地区内の有志が「国見移住促進委員会」を結成し、空家マッチングツアー実施に向けて準備を進めることとなった。実施時期は国見地区の魅力である自然の風景が最も美しい4月とし、移住者に提供可能な



空家5軒程度を一日かけてバスで巡回し、家屋の内外を見学してもらう予定である。参加者はホームページやSNS等で募集したり、11月と12月に東京で開催される県主催の福井移住フェアでのチラシ配布などを検討している。この事業には経費も必要なことから、国見地区の地域おこし協議会である「いきいき国見」の傘下団体のひとつとして活動することも確認した。地区内の皆様には「①空家情報の提供や確認」「②移住者の快い受入れ」「③町内別のルールブックの準備」等、様々なご協力やご理解をお願いします。

◆10月定例区長会

<10月4日(土)>の主な議題は次のとおり

- ①福祉委員：次期委員の推薦について(地区社協会長からの依頼)各自治会から推薦書予定
- ②赤い羽根共同募金 個別募金(¥200円/戸)とは別に大口募金(地区社協経由で納入)
- ③地区文化祭 10月26日(日) 8:30~15:00 主催：連合会
- ④福井の海を守る会 本年度の資材購入予定 公民館にて配布
- ⑤まちおこし協議会「いきいき国見」組織改革 11月：役員会 11月中旬臨時総代会
- ⑥国見移住促進実行委員会 空家マッチングツアー実施に向けた打合
令和8年4月に空家マッチングツアー実施予定
- ⑦連合会第1倉庫：下屋の屋根破損 修繕予定
- ⑧地区連合会通常総会 12月13日(土)午後7時予定
- ⑨国道305号線 道路情報表示板の更新工事予定
- ⑩令和8年度公民館主事候補者選考関係
 - (1)次期任期：令和8年4月~令和12年3月
 - (2)公募期間：11月4日(火)~11月28日(金)
- ⑪ふるさと国見企画展 第2回 「俳句」 11月25日(火)~12月26日(金)
公民館2階 中ホールにて

◆いきいき国見 意見交換会

9月21日(日)午後7時から公民館にて地域おこし協議会である「いきいき国見」の今後の運営についての意見交換会が開催され、「いきいき国見」の役員や地区自治会連合会の主な役員が集まった。本年6月に開催された通常総代会で今後の運営方法の見直し等を実施することになっていたことから、組織の「しくみ」や「運営方法」を改善する案を検討した。この会は市役所の「地域の未来づくり推進事業」の補助金を活用し、本年度は海洋ごみクリーン作戦や源平交流事業等を行なっている。令和8年度からは、地区夏祭や敬老会にもこの補助金を活用するよう変更したり、事業ごとに実行委員会をこの会の傘下団体として組織し運営する等の改革し、そのための予算シミュレーションや今後のタイムスケジュールを協議をした。その結果、11月中旬までに役員会を、11月下旬までに臨時総代会を開催し、次年度事業概要や規約改正を提案し会の「しくみ」を改善していくことになった。改革の内容については、今後の公民館だよりで地区民の皆様にお知らせしていく予定です。

❖市公民館連絡協議会 市運営審議会連絡会 ブロック別合同研修会

10月8日(水)午前、福井市公民館連絡協議会と福井市公民館運営審議会連絡会との合同の川西ブロック研修会が鷹巣公民館にて開催され、大安寺、宮ノ下、本郷、鶉、棗、鷹巣、国見の7地区の公民館運営審議会委員や公民館職員等38名が参集した。この研修会は公民館運営審議会委員や公民館職員の資質を高めより良い公民館活動につなげることを目的に毎年実施されていて、本年度は宮ノ下運営審議会と鷹巣公民館が当番として準備した。全国公民館研究集会の今年の大会テーマである「ミライにつなぎひろげる公民館」を実現するためサブテーマ「次世代につなげる地域づくり」を掲げ、6年前に鷹巣地区の南菅生町へ移住して来た(株)しの屋の代表である志野佑介氏を講師に迎え「越前海岸で百笑として生きる」という演題名の講演を参加者が受講した。志野講師は自身の生い立ちや海外協力の経験談を交えて、海と山の距離が近い越前海岸で、昔ながらの農村風景を維持しながら農業や漁業を行なう心の豊かさが、ひいては地域づくりにつながるのではないかと持論を展開した。講演の後は鮎川町にある製塩所(しの屋)の現地見学があり、塩作りの実態や苦労話の説明もあり、越前海岸の美しい景色についても独自の考え方を語ってくれた。参加者はひとつひとつの話に頷きながら、この研修で、違った角度からものを見つめることの重要性を学んだ、そのことを今後の公民館活動の参考にしたいと話していた。

❖国見公民館主事を募集

- ※ 募集人数 2名
- ※ 仕事内容 教育事業の企画・運営、広報、経理、施設管理、地区活動・各種団体の支援、行政文書配布業務 など。
- ※ 任用期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日(更新あり)
- ※ 勤務条件 1週間につき35時間



土・日曜日を含め、開館時間の前後1時間から2時間を含む範囲内で勤務を割り振ります。

- ※ 報酬月額 216,800円(令和7年度実績)
- ※ 申込期間 令和7年11月4日(火)～11月28日(金)
- ※ 提出書類等 申込書、作文、返信用封筒(460円切手貼付)
- ※ その他 詳細は、広報ふくい11月号・福井市HPをご覧ください。

- ※ お問い合わせ 福井市教育委員会事務局 生涯学習課(20-5361)
- ※市ホームページのQRコード(10/15～公開)



今後開催予定のイベント等(場所・対象)

- 11月2日(日)・・・地区粗大ごみ回収(各町内・地区民)
- 11月6日(木)・・・国見地区移住促進実行委員会設立総会(国見公民館・関係者)
- 11月16日(日)・・・国見地区球技大会(国見中学校体育館・地区民)
- 11月25～12月26日・・・ふるさと国見企画展 第2回「俳句展」(国見公民館・地区民)
- 11月26日(水)・・・国見中学生対象防災炊き出し研修(国見中学校・国見中学生)

❖市長と語る会

10月15日(水)、福井市のアオッサにて市公民館連絡協議会と市公民館運営審議会連絡会の合同での市長と語る会が開催され、西行市長、吉川教育長出席の中、市内の公民館関係者約50名が参加し、川西ブロック代表として松井館長も出席した。

西行市長はあいさつで「福井市は2025年の住みよさランキングが全国一位になった。併せて国見公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受けた。ほぼ毎年、福井市からどこかの公民館が表彰されている。市内49地区に設置されている各公民館がそれぞれの地区の特徴を重視してそれぞれ独自の事業に取り組んでいるおかげであり、そのことが住みよさランキングにも影響していると考えている。」と述べた。語る会のテーマとして事前に提出していた諸課題については次のように市長の考え方を述べた。①子供や若者には福井学事業などで郷土の良さを理解してもらい地域への愛着心を醸造すべき②中学校部活の地域移行については「子供の居場所づくり」とも位置付け公民館もできるだけ協力して欲しい③公民館の役割としては人を育てる人が集まる場所にすべき④避難所に指定されている小学校の空調設備は国の財源も活用して進めるがかなりの年数が必要、避難所のトイレの課題も重要⑤全国の道路陥没事例を受けて、通学路の安全確保のために市道埋設の下水管現状調査を実施し必要な修繕等の対応をした⑥子供の見守り活動については「夕方見守り運動」を進めたい。



❖第2回ふるさと国見企画展「俳句展」

11月26日(火)から12月26(金)まで第2回ふるさと国見企画展「俳句展」を、場所は公民館2F中ホールで開催します。多くの方のご来場をお待ちしております。

❖臨海消防署からのお知らせ

11月9日(日)から11月15日(土)までの1週間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。これからの時期、空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意しましょう。

《住宅防火4つの習慣》

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②こんろを使うときは火のそばを離れない
- ③コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く
- ④住宅用火災警報器を定期的に点検しましょう
(設置後10年を超えたものや故障したものは、取替えましょう。)



臨海消防署:87-2119・国見分遣所:88-2119

❖国見子どもクリスマス会 企画委員会

10月16日(木)午後7時から、国見公民館にて「子どもクリスマス会」の企画委員会が開催され、地区青少年育成会の役員等約10名が集まって、12月に計画されている子どもクリスマス会の内容について協議した。この子どもクリスマス会は国見地区内の高校生以下の子ども達を対象として行なうもので、その内容を検討した。第2回目の企画委員会を11月8日(土)に開催し内容の詳細を決定する。詳細については11月中旬頃に各町内の子ども会を通して対象世帯にチラシを配布してお知らせする予定です。

